

## 平成26年度「みえの現場・すごいやんかトーク」(津市)の概要 【速報版】

7月27日(日)に「のびすく〜松井塾〜」で「みえの現場・すごいやんかトーク」を開催しました。

当日は、「Children会」の皆さん8名の方にお集まりいただき、活動内容や将来への思い、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



### 【参加者からの発言】

参加者の皆さんから、以下のようなご意見をいただきました。

### 【活動紹介】

Q、この活動に参加して、良かったこと、嬉しかったこと、感動したこと、やりがいを感じたことはありますか？また、自慢話はありませんか？

○「Children会」は、未来ある子ども達の為に、私達大人ができることは何か、常に追い求め向上する会です。会の3本柱として、子育て・子育てSHIEN(支援)、青少年・少女・大人の育成SHIEN(支援)、そして福島復興SHIEN(支援)という活動をしている。

○悩まれてこの会に来ていただいた方から、ここは温かくて、ほのぼのとした会で良かったと言われて嬉しかった。

○様々な職種の方、様々な活動をしている方がこの会にいますので、それぞれの立場で、こんなことができるとアイデアを出し合える。それが心地よい活動にもつながっている。

- 活動をしていて、つながり、連携が大事だと思った。この会に集まってくる方々が、子育てについて、知識を提供し、共有し、またそれぞれ他のところで伝えられる。この会はそうした「ハブ」として大切な機能があると思う。
- この会に参加して、新しいつながりを得ることができて良かった。つながって活動を一緒にしていくことで、地域の活性化にもつながるのではないかと考えている。
- 毎月一回開催している「学びの会」は、いつも子ども達が賑やかで、大人もざっくばらんに話しをしている。オープンな会で毎回人が入れ替わるが、皆さん新しいことを話してくれて楽しい。
- 3人子どもがいても子育てで不安なことがある。この会に参加して他の人の話を聞いて、自分のやってきた子育てにも自信が持てる。

**Qこの会の活動を更に発展させていくには、こんな課題があるんだとか、目指しているところとか、行政はこんなところを頑張ってもらいたいなどありませんか？**

- 子育てや福祉の活動について、男性のリーダーが少ない。
- 小学生までは生きる力をつけるために、いろんな大人と触れ合って学ぶ空間が大切と思っている。小学生では人間形成の教育が大切で、その先学ぶことにもつながる。
- 思春期からのライフプラン教育について中学生向けにパンフレットを作成すると聞いた。成長も様々な中で、中学生に性教育を行うことは、良い場合もあれば拒否感を持つ子どももいる。小中学生は、命の大切さ、家族、他人への思いやりの部分が大切で、ライフプラン教育は高校生でよいと思う。
- 里親については、経済的な問題もあり、社会的なサポートが必要である。また、そのような子ども達を作らないよう、妊娠、出産した時に自分たちで育てられるようなサポートも必要である。その他、母子家庭や父子家庭へのサポートなど、子どもに被害が及ばないようにするには、行政の支援が必要である。
- 児童相談所に非常勤で外部から弁護士が派遣されているが、相談所内部でケースワーカーとして弁護士を雇ってもらいたい。
- 弁護士会でこの4月からいじめや児童虐待の相談ダイヤルをつくったので、県に広報をお願いしたい。
- 団体の活動を行っていくうえで、外部の方に活動をどのように知ってもらうかという問題がある。お金や人、物も集めることも含めて、知ってもらうということは本当に大事なことであり、行政で広報をしてもらうと信頼感が違うと思うので、是非、お願いしたい。

### **【知事の発言】**

- 全然違う業種、年齢、育ってきたバックグラウンドだからこそ、違う切り口の考え方が出され、いろんな力が組み合わさって、いい活動につながるのだと思う。
- このすごいやんかトークの趣旨としては、皆さんのように思いをもって活動する人が、県内にどんどん増えるといいということだが、活動をしていく中では、いいことばかりではなく、こういう大変なこともあったということも県民に知って欲しいと思っている。
- 教育の場面で小学生の人間形成、大人と触れ合う機会を優先するような教育が必要ということについてはそのとおりだと思う。学校だけでそれをやるのは難しいので、

- 皆さんのような方々が大事だし、皆さんのような方々の協力があってこそだと思う。
- 思春期ライフプラン教育は、中学生について先ほどご意見をいただいたことを根本として大事にしながら、それぞれの発達段階に合わせて、必要な医学的知識も知ってもらって、それをきっかけに、自分なりに考えてもらうサポートをすれば良いと思っている。
  - 来年度、県で社会的養護の計画（三重県家庭的養護推進計画）を作ることにしている。今年度、いろんな方からお話を聞いて、意義のある計画にしたいなと思っているので、よろしく願いしたい。
  - 弁護士会で設置された子どもの権利に関する相談窓口については、弁護士会との意見交換会でも紹介いただいたので、窓口の広報を行政も支援するようにしていく。
  - 会の活動について、県の後援などもできるが、申請が煩雑と思うのであれば、私のフェイスブックなどでお手伝いしたい。



【「Children会」の皆さん】とは

「Children会」は、未来ある子どもたちのために、大人ができることは何かを常に追い求め行動することを理念とし、すべての人々を SHIEN（支援）することを目的に平成 25 年度に設立された団体です。

これまで、講師として専門家を招き参加者全員で学ぶ「学びの会」や各種イベントを開催するとともに、海岸清掃や奉仕活動等のボランティア活動に取り組んでいます。